

令和7年度 第1回 浜名中学校 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月18日（金） 15時00分から16時30分まで
- 2 開催場所 浜名中学校 会議室
- 3 出席委員 竹内 佐織、岡田 正利、平野 岳子、松島 一博、内山 益巳、高橋 香代、横尾 晃央
- 4 欠席委員 竹内 幸弘、
- 5 オブザーバー 井田 正人（浜名協働センター）
- 6 学校支援コーディネーター 高橋 香代
- 7 学 校 河合 和夫（校長）、黒柳 幸夫（教頭）、深田 貴代（教頭）、守屋 主税（主幹教諭）、西村 善希（生徒指導主事）、藤森 淳（CS 担当教員）、中島 洋子（CSディレクター）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 協議事項
 - 1 委員任命書の交付
 - 2 浜松市学校運営協議会規則の確認
 - 3 委員の自己紹介
 - 4 会長挨拶
 - 5 校長挨拶
 - 6 議長の選出
 - 7 前回議事録の確認
 - 8 熟議
 - 9 連絡事項
 - 10 学校支援コーディネーターからの諸連絡
- 10 会議録作成者 CSディレクター 中島 洋子
- 11 会議記録

司会の高橋から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- 1 委員任命書の交付 新PTA会長であるの横尾 晃央氏に、校長より任命書の交付が行われた。
- 2 浜松市学校運営協議会規則の確認 【添付文書3頁参照】（黒柳教頭）
規則第3条（目的）及び第6、第7条を読上げ、委員に対して協力・承認及び参画の依頼がされた。
- 3 委員の自己紹介 【添付資料11頁参照】（名簿順）
- 4 会長挨拶 （竹内会長）学校・地域・生徒の共同活動を増やすために、委員への協力依頼がされた。
- 5 校長挨拶 （河合校長）新学年を全生徒が順調に過ごすことができている。奈良での落雷事故を教訓に、下校時間等を生徒の安全第一に今後も行っていく、及び今後の活動への協力依頼の発言があった。
- 6 議長の選出 司会の高橋から、竹内会長を推挙する発言があり、全員拍手でこれを承認した。
- 7 前回議事録の確認 【添付文書7頁参照】（黒柳教頭）
従来の活動を続けつつ、広報活動等を改善していく旨の発言があった。
- 8 熟議 議長が司会から竹内会長に交代した
 - （1）令和7年度学校運営の基本方針の説明と承認 【グランドデザイン参照】（河合校長）
 - ・ 人間力を高める意味を込めて、校訓をかつて浜名中で使用していた“高めよマナー”に変更した。
 - ・ 自己有用感を高める意味を込め＜学校教育目標＞に、～切磋琢磨～を追記した。
 - ・ 合言葉は、生徒自身で考え教師はそれを支援するという意味を込めて決めた。
 - ・ ボランティア活動を推進し、さらに中学生の活躍の場を増やしていく。○校長の説明を受け、全員拍手でグランドデザインを承認した。
 - （2）いじめ防止等のための基本的な方針について
【浜名中学校いじめ防止基本方針参照（HP公開）】（西村生徒指導主事）
 - ・ いじめの定義が読み上げられ、新しい環境の中でコミュニケーション等のすれ違いはどこでも起こりうることを教職員が認識し指導を行う。早期発見のため、定期的にアンケート調査を行い、情報共有をして適切な対応を行い、公的機関の協力も選択肢としている。
 - ・ 予防として“情報モラル講座”の回数を増やす。第1回を4月の保護者参加の学校公開日に、情報モラル講座の時間を設け、画像をアップすることや他者を誹謗中傷する危うさへの注意喚起をする。

- ・道徳の授業等いろいろな場面で取上げていく。
- ・今後の活動へのCS委員の協力依頼の発言があった。
- ・“情報モラル講座”への保護者参加を促し、情報への対応知識を広げてほしい。(平野委員)

(3) “夢育やらまいか事業”CS加算分に対する意見書について(黒柳教頭)

- ・昨年度CS加算分の使用は適正であり、監査受理された。(職業体験時の生徒名札・環境整備・面接資料購入等)今年度も同様の使用目的での意見書を浜松市に提出する。

○全員一致で、意見書の提出が承認された。

(4) 令和6年度の振り返りと令和7年度の目標【振り返り：添付文書10頁参照】(黒柳教頭)

- ・令和7年度の目標はレジュメ1頁上部枠内に記載されている。生徒育成目標の一環として、会議終了後、生徒会役員との交流会が行われる。
- ・広報活動としてCS会議を“学校たより”に掲載して配布する。

○よりよい活動を進めていくと議長より発言があり、熟議が終了した。司会が高橋委員と交代した。

9 連絡事項(黒柳教頭)

2年生職場体験について

- ・120の事業所が必要となり、委員へ協力の依頼がされた。生徒数が多いため9月の日程が組まれた。
- ・社会経験のため、また進路選択への幅を広げるため、企業紹介への依頼がされた。(藤森2年担当教諭)

○藤森教諭に、協力事業社の確定数の報告依頼がされた。(竹内会長)

10 学校支援コーディネーターからの諸連絡

- (1) 今後の学校運営委員会開催予定・年5回開催予定【添付文書2頁参照】
- (2) さくら連絡網について・開催通知は昨年同様“さくら連絡網”を使用する。
- (3) ホームページ等への写真・氏名掲載についての協力依頼《別紙記入》会議終了後回収
- (4) 今後の取り組み(予定)【文書2頁参照】

◆学校支援【継続】◆地域貢献【継続】

- ・新たな視点での継続見直し、また新規活動のアイデアや提案を今後に期待する。

◆「休日の部活動の地域移行」について【添付資料参照】(河合校長)

- ・平日の部活動は、週3日とし、水曜日にプラス1日を部活ごとに設定する。休日は土日どちらか1日のみ活動できる。
- ・令和8年9月以降は休日の部活動が大きく変わり、休日の部活動顧問の指導がなくなるため、地域クラブに所属するか活動をしないか等々、多くの活動パターンが考えられる。平日の部活動に変更はない。
- ・移行に関するガイドラインが決まり次第、順次生徒や家庭に伝えていく。

○他地域ではすでに行われている模様だが、他地区の様子が知りたい。(高橋委員)

- ・行政域により開始時期が違う。浜松市は広範囲のため、状況を見極め慎重に進めている。(平野委員)

学校運営協議会終了後、引き続いて生徒会本部役員・専門委員長との交流会が行われた。